

〒662-0088 兵庫県西宮市苦楽園 4 番町 7-1  
TEL. 0798-70-0656(ナレオルゴール) FAX. 0798-72-0110  
http://www.orgel-horie.or.jp/E-mail info@orgel-horie.or.jp

## シリンダー・シリーズ 6



### デスクタイプ インターチェンジャブル DESK TYPE I. C.

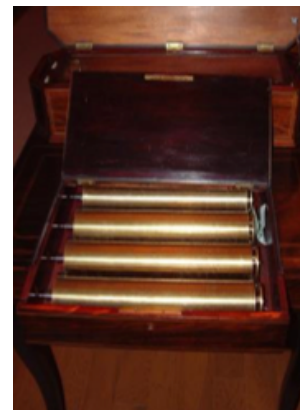
メーカー 不詳  
製造年 不詳  
原産国 スイス  
6.5cm×33.1cm(直径×長さ)  
H16.5×W63.5×D23

今回は<デスクタイプ インターチェンジャブル>と呼ばれるシリンダーオルゴールをご紹介します。このオルゴールの特徴は、主に2つ挙げられます。

1 つ目は、マンドリンと呼ばれるコーム(櫛歯)です。まず、オルゴールの演奏は、ピンがコームを弾くことによって行われます。ピンが弾くコームの長さが短いと高い音が発せられ、長いと低い音が発せられます。通常は1台のオルゴールに、同じ長さ、すなわち同じ音のコームが重複して配置されることはありませんが、マンドリンの場合は、同音のコームが何本も並んでおり、同じ音を連続・高速で鳴らすことができるようになっています。マンドリンの誕生によって、それまでのオルゴールでは叶わなかった、躍動的な演奏が可能となったのです。一般的なマンドリンの場合、多くても同音コームは7~9本ですが、このオルゴールでは、最も多いもので同音コームが12本もあることから、特別にスーパーマンドリンと呼ばれることもあるそうです。

2 つ目の特徴は、デスク(机)のような形状の専用台です。このオルゴールは、インターチェンジャブル、すなわち交換式という名の通り、シリンダーを交換することができる仕組みになっており、このデスクのような専用台の中に交換用のシリンダーが納められています。また、シリンダーの交換・セットの方法も、他のメーカーの交換式オルゴールと異なり、非常に特徴的だということです。シリンダーオルゴールは、時代が下るにつれ、より多くの曲を楽しみたいという人々の欲求に応えるため、交換式が一般的となります。しかし、シリンダーは重く、また無数の繊細なピンが刺さっているため、誰にでも簡単に交換できるわけではありませんでした。そ

こで、それぞれのオルゴール会社は、少しでも交換作業が楽になるようにと、交換・セットの方法にも様々な工夫を凝らしました。シリンダーオルゴールには、演奏はもちろんのこと、細かな機構の隅々にまで、それぞれのオルゴールを作った職人の個性が現れているのです。



## 通常プログラム

### 10月～11月 ワーグナー&ヴェルディ

今年生誕200年を迎えた  
2人の大オペラ作曲家 ワーグナー&ヴェルディの  
オペラ作品を中心に演奏致します。

毎週木曜～日曜（祝日）

① 10：30

② 13：00

③ 15：00

\* 20名様以上の団体の方は事前予約で  
火曜水曜も開館致します。

## もっと楽しみたい方は。。。

スタインウェイ・デュオアート(自動ピアノ)  
特別演奏会

### 来日した名ピアニストたち！

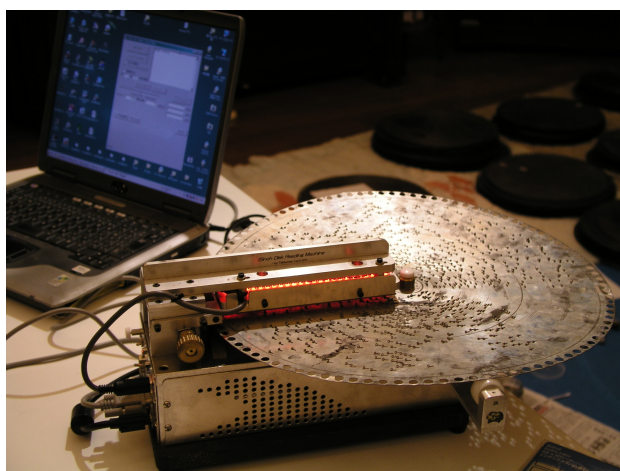
9月14日(土)15日(日)16日(月祝)

21日(土)22日(日)23日(月祝)

各日午後2時から

19世紀後半から20世紀前半にかけて来日した  
名ピアニストたちの演奏をお楽しみ下さい。

## オルゴール博物館ニュース



↑ ディスクを直接読み取ってデータ化します

原田さんはオルゴール用のディスクの  
穴の位置を読み取って  
デジタルデータ化する作業をされています。  
データ化することによって  
オルゴールに入っている曲や編曲技術などが  
保存され後世に引き継がれます。

8月12日から9月2日まで  
夏期休館とさせて頂きました。

その間オルゴール企画の  
原田 敬さんが来館して下さい  
当館が所蔵する約700枚の  
15 $\frac{1}{2}$ サイズのディスクを調査して  
データを収集されました。



当館が所蔵するレジナ社の15 $\frac{1}{2}$ サイズのディスクを聴くことが出来るオルゴールです↑  
レジナ社の15 $\frac{1}{2}$ サイズのディスクを当館はおよそ500枚所蔵しています